


## 事例6 【難病の方】

	氏名・年齢	Fさん・20代	利用した期間	2年
	障害	筋ジストロフィー (身体障害者手帳 1級)	障害特性	通勤(移動)が困難
	利用までの経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校普通科卒業。</li> <li>・学校の先生から就労移行支援事業所に相談。</li> <li>・学力は高いが、通勤が困難で就職が難しく、進路に迷っていた。</li> <li>・家と事業所を Skype でつないで訓練を行う「在宅訓練」を体験。その後、利用開始。</li> </ul>		

### 「在宅訓練」はどのようなことをしましたか？

Word、Excel、PowerPoint など、基本的な Office ソフトの使い方や、グラフィック系ソフト、Web サイトの作成方法など、パソコンを使った様々な技術を学びました。

また、ビジネスメールの書き方や、ビジネスマナーをふまえたコミュニケーションの取り方なども学びました。Skype で質問や報告をするのですが、遠隔でやりとりをする際、どのような工夫をしたら相手に正確な情報を伝えることができるか、といった在宅訓練ならではのスキルも身に付けていきました。

### 今の職場が決まるまでのことを教えてください

まず、就労移行支援事業所の中で、ホームページ制作の仕事を実習としてさせてもらいました。打ち合わせや進捗報告など、就労移行支援のスタッフではない方とやりとりをしたり、実際に公開するホームページを作ったり、訓練で習得した技術を実践的に確認していきました。

次に、在宅雇用をしている企業の求人に応募し、2か月の実習を経て雇用、となりました。

### 今の状況を教えてください

今は、首都圏の企業に雇用されて働いています。主にホームページの作成、新人の教育プログラム等の仕事を行っています。会議などにも通信ソフトを使って参加し、全国各地にいる他の社員さんと共に働いています。

また、就労移行支援事業所とは月に1回 Skype で連絡をとり、近況報告や相談などを行っています。

### これからお仕事をを目指す方に一言お願いします

体調やIT 機器のことなど、不安なことを相談しながら訓練や就職活動ができて良かったと思います。就職後も定期的に話を聞いてもらったり、在宅で仕事をしている人たちの座談会に参加させてもらったりして、前向きに仕事を継続しています。一人で抱え込まず、ぜひ相談してみてください。